

ぱれっと

Palette



今月の表紙写真

笑味ちゃん天気予報
「ハロー植田の農業愛の
ままだに♪」に出演した、ピーマン
農家の縣(あがた)さんご家族と
ハロー植田さん、リポーターの
古米さん。YouTubeで内容
をご覧ください。



特集

営農振興計画 2年目の活動紹介 第3弾(最終回)

～「園芸産地の活性化」と、
「よりよい営農活動の実践」～

今月の折り込み

冬季農薬予約注文書



© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L663809

岡山のがんばる農業人をご紹介

農を担う

藤田地区 レンコン農家

佐々木 優さん

10ページ



重点実施事項①

営農指導の充実による『よりよい営農活動』の実践

数値目標等(3カ年)

【TAC指導員訪問
活動件数(月間)】
30件以上/名

生産者をサポートする体制として、営農指導とTACの機能を統合した「TAC指導員」の配置を進めています。本所と各営農センターの連携を強化することで、情報共有をスムーズにし、生産者のもとへ積極的に足を運ぶ訪問活動に力を入れています。

今回は、その第一線で活躍する藤田営農センターと備南営農センターのTAC指導員にインタビューを行いました。それぞれの地域特性に合わせた具体的な取り組みや、現場で大切にしている思いをご紹介します。

藤田
営農センター
くまもと こうよう
熊本 光陽



TACとしての1日

ナス・タマネギ・レタス・スイカの4部会を担当

午前：朝一番に部会の出荷対応からスタート。生産者の方々とコミュニケーションを取りながら、作物の生育状況や病害虫の発生などを確認。

午後：別の部会の出荷対応をした後、個別の訪問依頼の対応など。

令和7年の活動について

重点項目 「訪問活動月間30件以上」 について

- 巡回日を設定し計画的に訪問活動を行っている
- 栽培がうまくいっていない生産者には、その後も重点的に訪問を重ねている
- 病害虫の相談依頼も多く、迅速に対応している

ベテラン農家の方でも、予期せぬトラブルに悩まれることがあります。指導員は「場数」が命。多くの現場を回ったからこそ見える解決策があります。訪問した回数だけ経験値が増え、生産者の力になると実感しています。



振り返りと今後

昨年は、他センターの事例に触れ、やってみたいことが大きく広がりました。

産地を守るためには、収益性を高めるための収穫量を増やす取り組みや、生産基盤の改善が不可欠です。

1年目にうまくいかなかった計画も、今年は別のアプローチで修正を加え、着実に成果を出せるよう工夫しています。



令和8年8月末より、BS資材(バイオスティミュラント)を活用し、高温環境にも強いナスの栽培検証を行っています。

藤田
営農センター
こばやし かつし
小林 勝志
センター長
から一言



熊本職員については、率先して巡回指導を行っており、生産者からの信頼を得ています。今年度は新たに「藤田西瓜部会」、「藤田アグリネクスト部会」の2部会を立ち上げました。これを機に、新規生産者を増やし、農業者所得向上に繋がるように取り組んでまいります。

営農振興計画 2年目の活動紹介

最終回
第3弾

～「園芸産地の活性化」と「よりよい営農活動の実践」～

先月号に引き続き、JA岡山の「営農振興計画」における重点実施事項の取り組み状況をご報告します。3回にわたりお伝えしてきた本特集も、今月号で最終回となります。今回は「持続可能な地域農業の実現に向けた園芸産地の活性化」と、それを支える「営農指導の充実による『よりよい営農活動』の実践」について詳しくご紹介します。

農畜産物の生産振興



重点実施事項③

持続可能な地域農業の実現に向けた園芸産地の活性化

数値目標等(3カ年) ※瀬戸内営農センター

【果樹振興品目】ブドウ**50a(拡大)**

就農促進トータルサポート事業を活用した新規就農者および農業塾による新規栽培者の確保と部会への加入誘導を図ります。

今回は、瀬戸内営農センター管内の事例を紹介します。

令和8年8月「瀬戸内市農業体験研修開始式」開催

就農促進トータルサポート事業を活用し、就農希望者が1カ月間、農作業や農村生活を体験することで農業への理解を深め、確実な就農へ繋げる研修です。

今回は研修生の國塩将大さんが、ぶどう部会(裳掛支部)に所属する農家3名のもとで、それぞれ10日間ずつ研修を受けました。

1カ月の研修終了後、受け入れ地域や研修機関、研修生が実務研修へ移行するかどうかを判断します。実務研修に進んだ場合は、最長2年間の研修を経て就農を目指すこととなります。



國塩さんの例

今年度

令和7年

裳掛地区の生産者のもとで1年間農業経験を積む。

令和8年

就農促進トータルサポート事業を活用し、本格的な農業体験研修をスタート。

今後は…

本人の希望や適性に応じて実務研修へと進みます。その場合は最長で2年間の研修期間を経て、独立就農を目指すこととなります。

國塩さんは「今回の研修でさまざまな方から色々な栽培手法を学び、自分にとってどんな栽培方法が良いのか自ら考えて就農に繋がりたい。将来は『ブドウといえば裳掛』と認知されるような、産地を支える生産者の一人になりたい」と意気込みを話しました。



ぶどう部会(裳掛支部)の3名と國塩さん(右から2人目)

数値目標等(3カ年)
※瀬戸内営農センター
【GH農場評価員認定取得】
2名(3カ年)

令和6年度より、営農指導のさらなるスキルアップを目指し、GH農場評価員養成講習会に参加し、評価員資格を取得。現在はそれを活かし、専門的な「栽培指導」と経営を見据えた「営農相談」を組み合わせた支援に取り組んでいます。ここからは、GH農場評価制度の概要とともに、今回初めて評価を受けた生産者と、指導にあたった評価員の様子をご紹介します。

① GH (グリーンハーベスター) 農場評価制度とは？

GH農場評価(以下、GH評価)制度は、農場管理のレベルアップを目指し、JAグループが推進する仕組みです。「農場の健康診断」ともいえるこの制度では、農薬・肥料の適正管理や栽培記録の作成、作業環境の整備といった項目を、専門的な視点から客観的に評価します。

② 専門知識を持った「評価員」がサポートします

この評価を実施できるのは、所定の講習を受講し、試験を突破した「GH農場評価員」のみです。現在この資格を取得した営農指導員は、専門知識を活かしたサポート体制を強化しています。現場の管理状況を数値やデータで確認することで、これまで以上に根拠に基づいた的確な栽培指導と、将来を見据えた営農相談が可能になりました。この制度を通して、担い手や大型農家の皆さまとともに、持続可能なよりよい農業経営を目指してまいります。

聞く

- ・生産者からの聞き取り
- ・営農指導員との情報共有
- ・栽培、経営の現状把握

評価する

- ・リスクの有無をチェック
- ・良い点、改善点を整理
- ・評価シートにまとめる

改善に繋げる

- ・結果を生産者へ報告
- ・具体的な改善提案



生産者に聞きました！

Q. GH評価を受けてみていかがでしたか？

評価員の方とざっくばらんに話げたのは良かったです。自分なりに工夫して記録をつけてきましたが、今回の指摘で「どこに注意すべきか」が明確になりました。

Q. 周囲の生産者にも勧めたいですか？

はい。チェック項目から得られるヒントは、きっと大きなプラスになるはず。また、若い世代への指導にも役立つと思います。「やらされる管理」ではなく「当たり前」の習慣として、自然に教えられるからです。

Q. 今後に期待することは？

チェック項目を通じて、これまでのやり方に新たな視点を持つことができました。「理解しておくべき管理基準」を知ることは、どの生産者にとっても大きなプラスになり、自身の営農の参考になると思います。



いとう かずしげ
愛樹地区ブドウ生産者 伊藤 一成さん

＼ GH評価について ＼

営農指導員に聞きました！

Q. 生産者からの反応は？

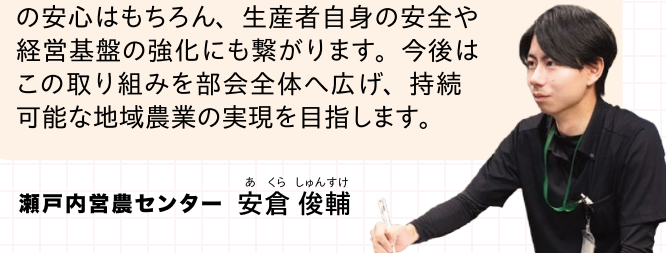
「農業の管理基準が明確で、何に気をつければ良いか指針ができて助かる」といったお声をいただいています。

Q. GH評価を受ける利点は？

農場管理の項目をチェックすることで、農業経営において何を優先すべきか、具体的な指針が明確になる点です。日々の作業の「見える化」により、自信を持って農作業に取り組めるようになります。

Q. 今後の展望は？

チェック項目を実践することが、消費者の安心はもちろん、生産者自身の安全や経営基盤の強化にも繋がります。今後はこの取り組みを部会全体へ広げ、持続可能な地域農業の実現を目指します。



あぐら しゅんすけ
瀬戸内営農センター 安倉 俊輔

瀬戸内
営農センター
やまもと ひで
山本 英樹
センター長
から一言



安倉職員にはGH農場評価を通じて、ほ場の栽培管理、衛生管理、作業手順を客観的に確認する力を身につけてもらいたいです。制度や基準を伝えるだけでなく、無理なく続けられる方法を一緒に考え、品質向上・安全で安心な農産物づくり・作業の効率化に貢献し、生産者から「相談して良かった」と信頼される存在になることを期待しています。

TACとしての1日
(7月頃～8月下旬)



今年からブドウを担当するほか、育苗等を担当

午前：ブドウの入荷・集計・市場別配分作業を行います。生産者が持ち込んだブドウを受け、伝票と数量を確認しながら集計し、約7社ある市場ごとに出荷の割り当てを行っています。
午後：育苗関連の事務処理を行い、生産者訪問を行います。

備南
営農センター
たけもと あき ひで
武本 哲秀



令和7年の活動について

重点項目 「訪問活動月間30件以上」について

- 月間目標30件を達成し、35件以上の訪問を心がけている
- 時間を作り、可能な限り生産者のもとへ出向き、相談や情報交換を行うよう意識している

今年4月からブドウ担当となり、ブドウ生産者とはほぼ初対面からのスタートでしたが、何度か訪問し名前と顔を覚えてもらい、気軽に話し合える関係になりました。相談内容は、病害虫や出荷規格の話などが多いです。過去の講習会資料を綴ったファイルなどを持参し、その場で答えられる範囲の説明ができるよう準備しています。



振り返りと今後

センター管内の灘崎ぶどう部会は、若い生産者が多く勢いがあり、その部会に携われることは自分にとって良い経験です。

ブドウについては、部会の協力を得て将来見通しアンケートを実施し、新規就農者の受け入れ方法等について部会と協議することを課題としています。特に前担当の原野営農センター長に大きく助けられており、その支えのもとで学びながら、将来的にはブドウ産地を一層盛り上げたいと考えています。



備南
営農センター
はらの たかひろ
原野 隆浩
センター長
から一言



武本職員には「果樹の指導と販売を両方担える担当者」として育ててほしいと期待しています。現在も市場との話し方や情報の引き出し方を教えていますが、前向きに取り組んでおり、日々の業務で自信をつけ、言い方や伝え方を磨きながら、1年後にはセンター内での存在感をさらに増してほしいと考えています。

農を担う

レンコンの
魅力を発信してたくさんの人に
食べてもらいたい!!藤田地区
レンコン農家さ さ き まさる
佐々木 優さん

1989年生まれ。
1,200㎡でレンコンを栽培。
佐々木農産有限会社取締役。㊟藤田レンコン
部会に所属。妻・祖母・父・母の5人家族。
最近結婚して実家の近くに居住。
趣味はゲームと漫画。
座右の銘は「明日は明日の風が吹く」

花や実、観賞用として直売
所に出荷することもあります。
レンコン（蓮根）は「地下茎
（茎）」の部分で、食物繊維やビ
タミンが豊富で、シャキシャキ
感、ホクホク感が楽しめます。

9月7日、藤田地区の
佐々木 優さんに
お話を伺いました。

就農したきっかけは？

祖父がもともと倉敷市連島のレン
コン農家出身で、約60年前にここで
レンコン栽培を始めました。

父が後を継ぎ、私は地元の大学を
卒業後、東京の会社に就職して石川
県でシステムエンジニアとして働いて
いました。

いつか農家を継ぐことは決めてい
ましたが、好きな情報システムやプロ
グラム設計の仕事をもう少し続けたい
という思いもありました。しかし、
3年ほど経った頃に転職の可能性が
出てきたため、そのタイミングで就農
を決意しました。



収穫後、レンコンを大型洗浄機に通して泥と根を洗う

会社のみんなが協力して
レンコンを出荷

農業を始めてからは？

子どもの頃に洗い場の作業を手
伝った程度で、栽培や管理については
全くの未経験でしたが、父の指導のも
と、少しずつできるようになってきた
と思います。

レンコンの収穫は7月末から翌年
の5月末まで続きます。今の暑い時
期は、従業員と一緒に早朝から昼頃ま
で収穫を行い、作業場に持ち込んで、
パートさんたちが洗浄・袋詰め・箱
詰めをして、作業が終わるのが夕方

になります。従業員やパートさん、み
んなの協力があつてこそ成り立って
います。従業員への指示出しや働きや
すい環境づくり、作業の事前準備な
ど、経営者としてまだまだ課題が多
いと感じています。

楽しいこと・苦労することとは？

収穫が終わる頃から、次期作のた
めの土作りとして肥料をほ場に入れ
ます。ほ場にボートを浮かべて肥料を
乗せ、手でひたすらまき続けるので
す。ほ場が広い「いつ終わるんだ
ろう」と思うこともあります。

レンコンの収穫は、2メートルほど
に成長した葉を倒し、水圧ポンプで土
を払って傷つけないよう丁寧に手探
りで掘り出します。夏は熱中症対策、
冬は氷が張った田んぼに入るとい
う過酷な作業ですが、節がそろったきれ
いなレンコンが出てくると、やはりう
れしいですね。

栽培上のこだわりは？

最近、アブラムシ対策で使用して
いた農薬を極力控え、かき殻からで
きた有機石灰や、酵母由来の天然成分
を配合した肥料を使用するなど、環
境に優しい栽培に取り組んでいます。

もっと働きやすい環境づくり

今後の抱負は？

栽培面積は現状を維持しつつ、機
械化できる部分は積極的に取り入
れ、みんながもっと働きやすい環境を
つくっていききたいです。

藤田地区は干拓地で、海のミネラ
ルが豊富でおいしいレンコンが育ち
ます。このおいしさを、できるだけ多
くの人に届けたいですね。

私は、シンブルに輪切りにして焼
き、塩コショウで食べるのが好きで
す。レンコンは、切り方や火の通り方
によってさまざまな食感が楽しめる
野菜です。私たち生産者もレシピを考
案し、レンコンの魅力を積極的に発信
していきたいと考えています。

聞き手…J A岡山広報担当



レンコン栽培について話す佐々木さん



胴長と大型の防水
ゴム手袋です。
暑い時も寒い時も
これがなければ仕
事ができません。

my favorite item



楽しい

家庭園芸

お気軽に
お問い合わせ営農部指導課
☎086(225)3224春を味わう
野菜です

営農部指導課 岸野 真美



野菜

エンドウ

エンドウについて

エンドウは、春の食卓を飾る食材として家庭菜園では定番の野菜です。緑色が鮮やかで、お料理の彩りに欠かせないきぬさやエンドウ、ぶつくら膨らんださやごと食べるスナツプエンドウ、豆ごはんには豆を食べる実エンドウ、どれも人気の野菜です。

エンドウは寒さに強く暑さには弱い作物で、生育適温は15～20℃で、25℃以上では生育が悪くなります。越冬中の幼い苗はマイナス4度の低温にも耐えますが、早春期における若い茎葉はマイナス0～4℃でも凍霜害を受けることがあります。

また、エンドウには「つるあり」と「つるなし」(わい性種)があり、つるあり種は草丈が2メートルになるので、支柱を立ててキュウリネットや紐等が必要となります。つるなし種は草丈が約80センチと低いので、短い支柱で管理します。

畑の準備

日当たりが良く、排水良好なほ場が適します。エンドウは連作障害に弱い代表的な野菜で、3～5年はエンドウ類を栽培したことがないほ場を選びます。連作をする「いや地現象」で立枯病が発生したり、生育が悪くなり収量が減ります。

2週間以上前には、元肥に10平方メートル完熟たい肥を20キロ、苦土セルカ2号

各地で菊花展が開かれます

春のサクラに対して秋のキクは日本を象徴する花の一つ、岡山市、瀬戸内市などでも市の花に指定されています。品種育成や技術開発の成果で、花屋さんに行けば年中見られるようになりましたが、もともとは秋に咲く短日植物です。

そのため、10～11月は、様々な姿のキクが身の回りで見られ、品種も特に豊富です。文化の日を中心に各地で菊花展が開催され、鳥城公園や岡山後楽園、瀬戸内市のゆめトピアなど、広い会場に丹精込めた花々が並びます。

主な鑑賞菊をご紹介します

○大輪三本仕立て

いちばんよく見るキクの仕立てで、1鉢で競う場合もありますし、多くは12鉢など高さを変えて仕立てて、集合花壇として出品します。手前から奥へ大輪が整然と並ぶ姿は見事です。そのためには品種選び、挿し芽時期、3本の枝の誘引など、様々な苦労があります。出品者によっては予備鉢を作っにおいて、展示期間中に入れ替えもします。

○ダルマ作り、福助作り(資料4)

一般の3本仕立てより遅い時期に挿し芽をして、小さい鉢に植え、3本、1本にコンパクトな仕立てをします。丈は短くても花は大輪にする必要があります。

○盆栽菊(資料4)

15カ月前後で、あたかも何年もかけて育てた盆栽のような姿に育て、直幹にしたり石付き根上がりにしたりと、工夫を凝らして成形します。それに小さな花が咲くとかわいらしく、花が咲いた小山を見るような景色になります。

等を1.5センチ施用し、深く耕しておきます。酸性土壌には弱いので、必ず石灰質肥料を施用し、しっかりと土作りをしておきます。種まきの1週間前までに、J A岡山専用有機肥料等を約500グラム施用し土壌に混和した後、畝幅を約120センチとして通路を広くとり、できるだけ高い畝を作ります(資料2)。

また、雑草を抑え、水分と肥料分を保持するマルチを利用するのも良いでしょう。

種まきと間引き

適期は11月上旬～中旬頃で、早播きすると早く株が大きくなり、冬の寒さで傷んでしまいます(資料1)。

種まきは一条で、株間30～35センチ間隔で2～3粒ずつ播き、2センチ程度覆土します。播いた後にはしっかりと水をやり、その後は種が腐る原因になるので、発芽までは灌水は控えめにします。鳥の食害が心配な場合には、防鳥テープ等対策をします。

本葉が2枚くらいまでに、生育の良い株を1～2本残して間引きします。

支柱立てと防寒対策

つるが伸び始めるまでに支柱を立て、キュウリネットや紐を張り、伸びてくるつるを誘引します(資料2)。

12月中旬頃には、株元にワラを敷き防寒するとともに、支柱を利用してワラ等を株の上に吊り下げて霜よけにします。

追肥と枝管理

追肥は開花が始まる頃から2～3回に分けて、化成肥料を10平方メートルあたり約300グラム程度施用し、土寄せをすることにも灌水をします。

エンドウは親づるにたくさん花が着き

懸崖作り(資料5)

大きな株に小輪のキクが滝のように一面に花開いた形の仕立てです。

大きい株に仕立てるには、2月中旬に冬至芽を分け、苗作りするところから始まります。展示されているのを見ると作ってみたくなりますね。作り方をこのページに掲載しようと思いましたが、かなり紙面が必要になるので、大まかな作業だけ順に書いておきます。

・苗の準備

一株を大きく仕立てて摘芯を繰り返して、多くの花を咲かせるため、伸長、側枝の発生の良い品種が向いており、通信販売以外では、栽培中の人が居れば分譲をお願いするか、開花株を購入するなどにあります。

・育苗

2月中旬下旬～3月上旬に冬至芽を分けます。できるだけ元の株から遠くに、勢い良く伸びた芽を選びます。ほとんど葉が開いていない芽でも構いませんから、地下茎を5～7センチ付けて切り、芽の部分だけを出して用土に挿します。灌水後は半日陰の暖かいところに入れ、発根を待ちます。

・鉢上げから

根が出始めたなら、3.5号ポットに鉢上げて肥培します。

1本だけ茎を伸ばし、30～40センチの時に摘芯します。鉢上げから30～40日後(5月前半)、5～6号鉢に

ますが、子づる・孫づるになるにしたがつて花が少なくなります。花着きの悪い孫づるは早めに取って、全体の日当たりと通風を良くすることが大切です。枝が繁茂してくるとわかりにくくなるので、3月下旬以降に発生するつるを早めに取り除きましょう。

また、つるが伸びて繁茂してくると、約40センチ間隔で横にひもを張って、倒れないようにやさしく固定します。

開花期以降は水分を必要とするので、

晴天が続く土が乾いたら、ために灌水をします。

収穫

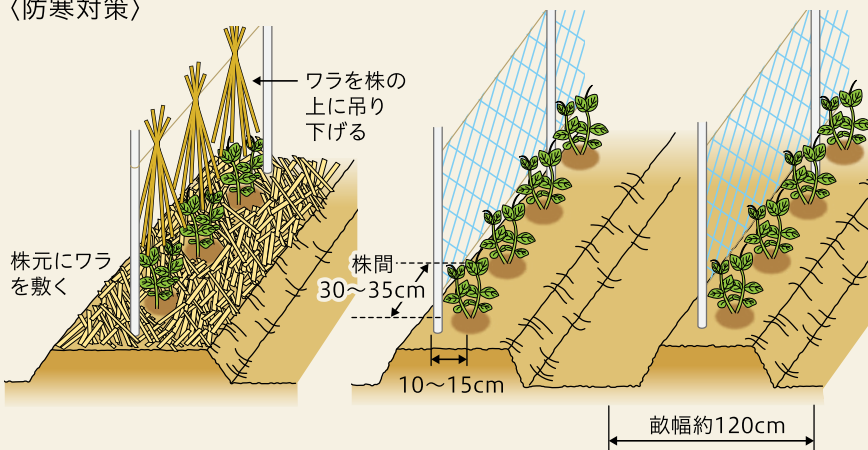
きぬさやエンドウは花が咲いて10日程度で、スナツプエンドウは14～20日程度で収穫できます。実エンドウはさやの緑色がうすくなってきた、表面にシワがで始めるころが収穫適期となります。いずれも取り遅れないように収穫しましょう。

資料1 エンドウ栽培 作型の目安

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
エンドウ											←→	
種まき時期												
収穫時期												

資料2 支柱立てと防寒対策

〈防寒対策〉



植え替えます。

最初の摘芯後、伸びた側枝が20センチ程度の摘芯しますが、上から2番目の側枝だけは主幹にするため、そのまま伸ばします。

その後繰り返す摘芯の時は、株の中心に対して外向きについている葉の上で摘むと、外向きの芽が伸びやすく株張りが良くなります。2回目の摘芯は、15センチ以上のやや長めの時期に。

7月前半に8～9号鉢に植え替え(仕上げ)、8番線くらいの丈夫な針金を主幹に沿わせて鉢底までさし、上部を誘引します。針金は長めに付けておき、この針金を付けた主幹が斜め上に傾斜するよう

うに茎を徐々に曲げて固定します。茎を曲げる部分は裂けたりしないようこまめに縛り、やや水切れ気味の日中に慎重に作業します。生育管理中は図のように斜め上向きです。

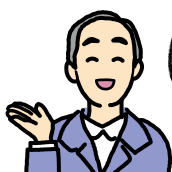
下向きにしていくのは先端の蕾が色づき始めた頃、やはり萎れ気味の状態で作業します。

参考

そのほかのキクも、植えたままではなく、毎年適期に挿し芽して若い組織で栽培するのが一番ですが、懸崖作りと同様に、冬至芽を分けることも若返り対策になります。

花き

キク

今はキクが
あざやかに
咲き誇ります

営農部指導課 中川 雄一

資料3 菊花展に出品された三本仕立て(花壇の最前列)



三本仕立ての基本は中央を一段高くしますが、花壇での出品には逆に中央が低い鉢と交互に並べて全体が整然と配置されたうえで、縦にも横にも同じ色の品種が並べないことが求められます。

資料4 ダルマ作り(三本)、福助作り(一本)、石付き盆栽菊(左隣は管物の花)

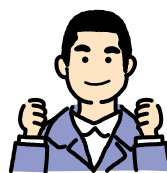


ダルマは鉢底から花首まで60センチ以内、福助は40センチ以内で大輪の花を咲かせます。花の形は分厚く盛り上がる「厚物」、その下に長い走り弁が出る「厚走り」、一重咲の「一文字」、花卉が管状になった「管物」などがあります。

資料5 懸崖作りと冬至芽、仕上げ鉢での棚への固定



8～12月に咲かせるキクは3月末頃～7月に挿し芽をして開花を目指します。懸崖作りは、大きな株に仕立てるため、2月中旬下旬～3月上旬に土の中から出てくる冬至芽を分けることから栽培開始です。→:冬至芽



来年にむけて
土づくりを
行いましょう

宮農部指導課 祇園 将人

11月は、梨、柿、キウイフルーツの収穫時期になります。今月にはすべての果実をとってしまえます。また、カンキツの収穫も行いますが、カンキツは12月になっても収穫が続きます。

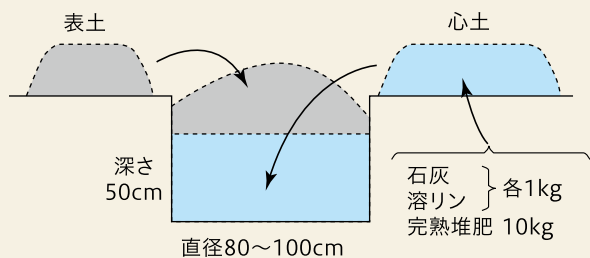
10月号に記載した土づくりは行っているでしょうか？できていなくても11月上旬を過ぎ、温度の低い時期に行うと根の枯れこみの原因になるので、遅くなったら堆肥や石灰を畑の表面に施用するのは構いませんが、断根は行わないでください。11月も降雨が少ないようなら灌水を行いましょう。

苗木の植え付け場所について

果樹の場合、落葉果樹は12月に、カンキツのような常緑樹は3月に植え付けを行います。植え付け場所は考えているでしょうか。初めて果樹を植える場合は、多くの果樹が日当たり良く、水はけの良い畑を好みます。そのような畑を選んで、しっかりと間隔を開けて植えることができます。問題は改植です。改植する場合、前の樹を抜いて植え付ける場合は問題ありませんが、苗木が大きくなるまで前の樹を残しておく場合には注意が必要です。まず、前の樹のすぐ側に植えると前の樹の根が良く張っているため、苗木は土壌から養分をあまり吸収することができないので、なるべく離すようにしましょう。次に日当たりです。南側など良く日が当たれば問題ないですが、前の樹が邪魔して日が当たりにくい場合は縮伐を行い、苗木に日がよく当たるようにしましょう。

資料6 苗木植え付け

苗床の準備



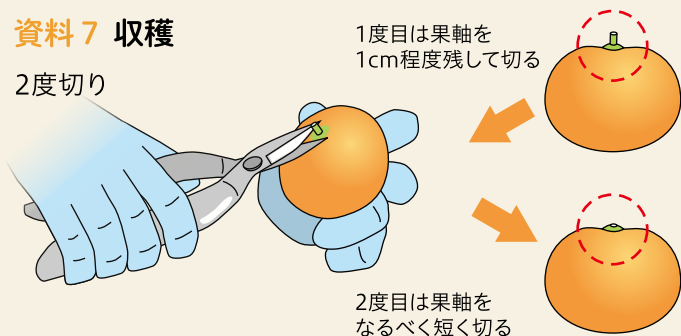
植え付け穴の準備について

苗木を植える1カ月前には、植え付け穴の準備をしましょう。早めに準備しておくことで、肥料が土壌に早くなじみます。

まず、直径80〜100cm、深さ50cm程度の穴を掘ります。その時に、表面の土（表土）と深い所の土（心土）を分けておきます。次に完熟堆肥を約10kg、石灰溶リンを各1kgずつ心土に入れて混和します（ただし、ブルーベリー・やまももは強酸性土壌を好むため石灰は施用しない）。その後、心土、表土の順に埋め戻し、盛り土状にしておきます（資料6）。植え付け方法は、来月記述させていただきます。

資料7 収穫

2度切り



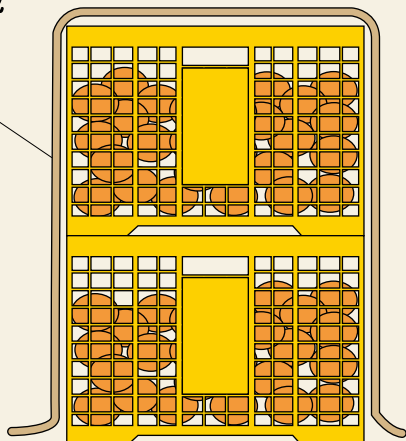
カンキツ類の収穫について

今月は早生温州の収穫時期です。ほぼ完全着色になったものから順次収穫していきます。（平年なら11月中旬頃）収穫時には、必ず2度切り（資料7）を行います。収穫時にハサミで傷ついた、果軸が長く他の果実にあたると腐敗の原因になります。なので、一度目は果軸を1cm程度残すように切り、2回目によく見ながら果軸をなるべく短くするように切りましょう。収穫した果実は投げたりせず、丁寧に収穫カゴに入れます。投げ込むと、後から茶色に変色して傷みが早くなります。

中生温州は12月中旬から、晩生温州

資料8 貯蔵

ゴザで覆う



カンキツの貯蔵について

は12月下旬から収穫を始めますが、どちらともほぼ完全着色したところから始めます。

極早生温州は収穫後、貯蔵せずに出荷します。早生温州は収穫直後のみかんが固い場合は、貯蔵して少し柔らかくなってから出荷になります。

貯蔵は風通しの良い納屋に、収穫コンテナ等に7〜8分詰めにし重ねます。年内の貯蔵なら、上から水分が飛びすぎないようにゴザ・コモ等の薄手のものを掛け、密閉しないように貯蔵します（資料8）。

藤田宮農センター今月の推し!

レタス
を使って

シャキシャキ&とろ〜り レタスのあんかけうどん

©2017 JA-KYOSAI

JA共済の
地域貢献活動

材 料 (2人分)

レタス	1/4玉	ごま油	大さじ1
シメジ	1/2株	片栗粉	大さじ2
豚薄切り肉	100g	溶き卵	1個分
カニカマ	30g	塩、こしょう	適量
ニンニク	1片	茹でうどん	2玉
水	600cc		
顆粒鶏がらスープの素	小さじ2		
醤油(濃口)	小さじ1/2		
砂糖	小さじ1		

作り方

- ①レタスを食べやすい大きさにちぎり、シメジは石づきを落として小房に割く。豚肉は一口大に切り、カニカマはざっくりと手でほぐしておく。ニンニクは皮を剥いてみじん切りにする。
- ②中火で熱した鍋にごま油を引き、ニンニク、豚肉、シメジを炒める。豚肉に火が通ったらカニカマとAを加えて煮立たせ、レタスを加える。
- ③水50cc(分量外)に片栗粉を溶いて②に加えて混ぜて再度煮立たせる。とろみが出てきたら溶き卵を鍋のフチから細く流し入れ、固まり始めてから大きくゆっくりと混ぜる。
- ④塩、こしょうで少し濃いめに味を調え、温めた茹でうどんを器に盛り、③をかけたら完成!

シャキシャキレタスを
アツアツとろ〜りあんかけに!

Point

溶き卵は混ぜすぎないことで
ふわふわの仕上がりに!

編集後記

あぐろぐらむ



10・11月は「国消国産」月間、国産のものを食べよう

皆さんは、『国消国産』という言葉をご存じですか?

『国消国産』とは、私たちの国で消費する食べ物は、できるだけこの国で生産するというJAグループが提起した考え方です。

日本の食料自給率は約37%^{*}。食料のおよそ6割は輸入に頼っています。農地を耕し、自然と調和しながら、長い年月をかけて育まれる農畜産物は、不足したからといってすぐに作れるわけではありません。

10月と11月は国消国産月間。日本の食を守るため、日々できるだけ国産の農畜産物を選びましょう。

私も、広報担当として農業の現場や農産物の魅力を発信すべく、笑味ちゃん天気予報や、農業新聞、広報誌、Instagramなどの取材に力を入れていきたいと思っています。

編集担当 弘末 彩香

※令和7年度カロリーベース



こく しょう こく さん

国 消 国 産

ち さん ち しょう
地 産 地 消

- 地域で生産
- 地域で消費
- 「食」や「農業」の理解

例えば私たちに
できること

- ファーマーズマーケット
を利用する

地域で

- 食料安全保障
- 食料自給率の向上
- 生産基盤の維持・拡大
- 次世代の担い手確保

持続可能な地域農業・
地域社会づくり

例えば私たちにできること

- 国産農畜産物を選んで食べる
- ごはん(お米)をもっと食べる

日本で

SDGs

持続可能な開発目標

JAグループの取り組み

働きがいも経済成長も

- 農業従事者への各種支援

つくる責任つかう責任

- フードロス削減
- 農業生産における環境負荷の軽減 など

「国消国産」はSDGsの達成に貢献

世界に

公式ホーム
ページ



オンライン
ショップ



公式インスタ



JAOKAYAMA.OFFICIAL

公式X



公式
YouTube



広報誌「ばれっと」意味

水彩画や油絵を描くときに絵具をまぜあわせて色をつくる板のこと。特色ある地域の様々な情報をうまく調和させながら、地域と共に歩むという願いがこめられています。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

JA岡山は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。